

野崎洋光さん講演・実演会

国見町応援大使の野崎洋光さん(分とく山総料理長)の講演・実演会が2月12日、道の駅国見あつかしの郷で行われました。

講演会は、「国見から食の安全・安心を発信」と題して行われ、野崎さんは「一番のご馳走は消費者との距離が最も近い地元の新鮮な食材。国見町にはおいしい野菜や果物がたくさんあり、まさに食の桃源郷なんです」と話し、国見町の「食」を改めて高く評価していただきました。

講演後は、野崎さん考案の国見の旬の食材を使った簡単レシピの紹介や試食のほか、参加者が持ち寄った家庭料理や創作料理の試食会が行われました。それぞれの「家庭の味」に舌鼓を打った野崎さんは「どれも芸術的。素材が生きています」と絶賛。参加者は国見の豊かな食文化や食材の魅力を再認識していました。



1 国見の食の魅力を語る野崎さん 2 持ち寄った料理を紹介する参加者 3 4 多彩な「家庭の味」を楽しむ参加者と野崎さん 5 野崎さん考案『あんぼ柿の抹茶クリーム掛け』。あんぼ柿の甘さと抹茶のほろ苦さが絶妙にマッチ!



Q 国見町の家料理の味はいかがですか?
 素朴ながら飽きない味付けでどれもおいしい料理ばかり。まさに家庭料理のあるべき形で原点と言えます。伝統的な料理も時代の流れとともに変わっていきませんが、少しずつ工夫しながら上手に地元の食材を使っていて素晴らしいです。



野崎さんが紹介する「国見の旬の食材を使った簡単レシピ」から「豚肉とさつまいもの炊き込みご飯」をご紹介します!

豚肉とさつまいもの炊き込みご飯

材料 (4人分)

豚バラ肉(スライス)	80g	米	2合
さつまいも	100g	水	300cc
分葱	1本	(a) 薄口醤油	大さじ2
黒つぶ胡椒	少々	酒	大さじ2

- 作り方**
- ①米は洗って水に15分浸し、ザルに上げて15分水気を切る。
 - ②豚肉は2~3cm幅に切り、熱湯にサッとくぐらせ霜降りをして水に落とし、水気を切っておく。
 - ③さつまいもは長さ3cm位の一口大に切り、5分間水にさらして、水気を切る。
 - ④炊飯器に、米と③のさつまいも、(a)を入れて早炊きモードで炊く。
 - ⑤炊き上がり直前に②の豚肉を入れて蒸らす。仕上げに小口に切った分葱と黒つぶ胡椒をふり、全体をさっくりと混ぜ、茶碗に盛って出来上がり。



1 赤ちゃんから大人まで大人気だったタマゴボール 2 3 4 さまざまな木のおもちゃで遊ぶ子どもたち 5 木工体験ワークショップ 6 笑顔があふれた『まむふえすた』

森のおもちゃフェスティバル

森のおもちゃフェスティバル～木育キャラバン in 国見町～が2月17日と18日の2日間、観月台文化センターで開催されました。



誕生祝品「あつかしコロコロ」

初日は開催に先立ち、誕生祝品贈呈式が行われ、昨年町内で生まれた赤ちゃん31人に町産木材で作ったオリジナルおもちゃ「あつかしコロコロ」が贈られました。贈呈式では、太田久雄町長が「町産の杉で作ったおもちゃで木のぬくもりや温かさを感じてください」とあいさつし、代表の星野寿さん・翼ちゃん親子におもちゃが手渡されました。



誕生祝品を受け取る星野さん親子

木育とは?
 子どもをはじめ、すべての人が「木にふれあい、木に学び、木と共に生きる」ことで、豊かな感性を育むことを言います。国見町は、平成28年3月に「ウッドスタート」を宣言し、「木育」を推進しています。

おもちゃフェスティバル会場には、東京おもちゃ美術館の協力で世界各国から20種類以上の木製おもちゃが大集合。たくさんのおもちゃが、子どもたちを前に、子どものみならず、大人も夢中になって遊ぶ姿が見られました。会場内のワーク



多くの来場者で賑わう会場

2日間にわたって開催されたこのイベントには、県内外から延べ3000人以上が来場し、会場は終始、子どもたちの笑顔と木のぬくもりに溢れていました。

ショップコーナーでは木工体験も行われ、子どもたちは木の質感を楽しみながら、個性豊かな作品を作り上げていました。また、2日目は一般社団法人ココマムプラス主催の「まむふえすた」も観月台文化センターで同時開催されました。子育て世代のみならず、子どもと楽しく遊び遊べるワークショップ体験ブースや販売ブースが多数出展し、多くの親子で賑わいました。

来場者の声

来場者のみなさんに感想を聞きました。

以前にも国見町で開催された木育キャラバンに来たことがあり、親子で一緒に楽しむことができました。今年も開催されると知って友だちを誘って来ました!



安立 媛夏乃ちゃん (ママ 麻里花さん) (国見町) 石高 純梨ちゃん (ママ 愛子さん) (伊達市) 石高 結梨ちゃん (ママ 友佐藤 万貴さん) (伊達市)



誕生祝品が贈られた 後藤 碧凜ちゃん (ママ 麻衣さん パパ 怜さん)

町産木材のおもちゃの贈呈は、町にある資源を上手に活用して、小さな子どもたちに木に触れてもらう良い機会だと思います!